

西湖自然散策発表

～富士の自然と暮らしツアー～

4/20～4/21

近藤、田島【滉】、谷口、村松





いやしの里



西湖北岸にはかつて、足和田村根場・西湖の2つの集落がありました。
昭和41年(1966)9月25日未明、台風26号の豪雨で発生した土石流は、この2つの集落を襲って壊滅させ、多くの人々の命を奪いました。
この「足和田災害」によって、それまで築いてきた生活基盤のすべてを失ってしまった住民たちは、住み慣れたふるさとを離れ、集落ごと移転しなければならませんでした。



土石流の直撃を受けた根





国指定天然記念物

西湖蝙蝠穴およびコウモリ

所在地 山梨県 足和田村 西湖青木ヶ原二〇六八
指定 昭和四年十二月十七日
所有 山梨県

西湖蝙蝠穴は、西湖西岸の西約六四〇メートル、龍宮洞穴の東一、一六〇メートルの地点にあり、その海拔は九二五メートルである。本穴の所在地は青木ヶ原溶岩流の北辺で最も低く、傾斜はほとんどなく、水平に近い。

本穴の形状は頗る不規則で、総延長は約三八六、五メートルもあり、富士北麓溶岩洞穴のなかでは規模の大きいものである。

この付近は溶岩流が湖を埋めた場所であるため、厚い溶岩層が湖水からガス化した水分の補給を受けることにより、幾つもの空洞が上下に連結して延びて出来た洞穴が多く、単純な構造のものは少ない。

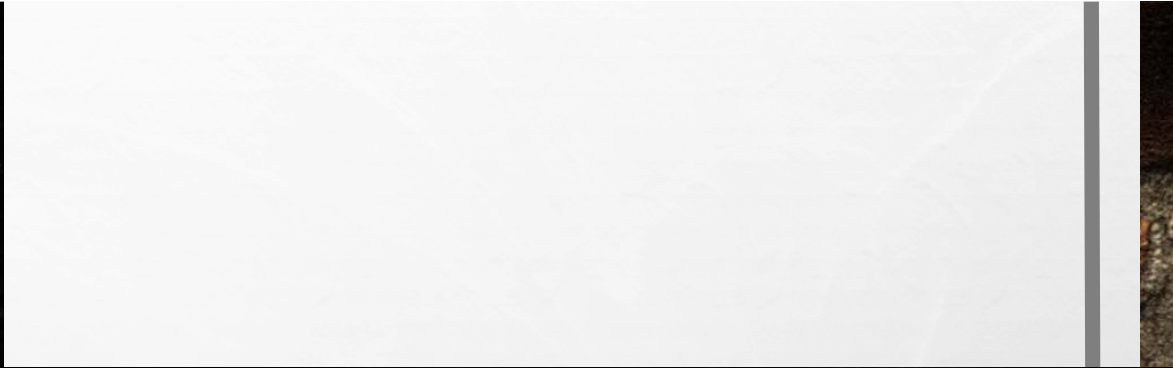
本穴も複雑で重層の構造をした洞穴である。特に洞内の重要な部分は、入口右壁の表面がずり落ちて出来た美しい擦過痕が見られ、奥の側壁部に太古の湖面の水位を示す珪藻土線が下層洞穴の壁面に残っている。また、空洞連結時のガスの移動で、また高熱で軟らかかった溶岩鍾乳が引っ張られ、平行線状の痕跡として固まって残ったものが、開部最奥の天井に見られる。洞穴は冬も温暖であるため、過去には多数のコウモリが生息していたが、現在は僅かしか見られなくなった。

平成十年九月

山梨県教育委員会
足和田村教育委員会



コウモリ穴





ヒメマス未成熟個体 (西湖産) クニマス幼魚 (飼育個体) クニマス未成熟個体 (西湖産) クニマス成熟個体 (メス・西湖産) クニマス成熟個体 (オス・西湖産) クニマス (西湖産)



クニマス展示館

課題及び改善点：

オリエンテーションの課題としてはコウモリ穴の後予定にはなかった樹海散策をしたがそれでも時間が余ってしまったのでもう少し詳細な計画を立てるべきだった。

地域の課題としては看板が少なく道がわかりづらいので同中に地図を設置するなどの対策が必要。

感想：

山梨県の昔の風景や自然、生き物についての理解が深まった。